

『BRICsシリーズ』

インド携帯電話市場分析 2004

- 世界から注目されるインドの携帯電話市場全般の現状と
今後を展望分析 -

移動体通信・IT専門の調査会社である株式会社MCA (<http://www.mca.co.jp/>)では、世界の携帯電話端末市場の成長を牽引する「BRICs シリーズ」第2弾として、2005年1月に「インド携帯電話市場分析 2004年度版」(価格:99,750円/税込み)を発刊しました。

BRICs各国は巨大な人口基盤とする内需市場と豊かな天然資源を確保しており世界で最も成長潜在力が高い。

10億人を超える人口を抱える大国インドの携帯電話加入者数はここ3年間150%の成長を続け、中国に次ぐ世界でも有数の巨大市場として期待されている。2004年7月末現在の加入者数は3800万(GSM3000万、CDMA800万)で対人口普及率は未だ4%に過ぎず、固定電話を合計しても8%程度だ。インド携帯電話市場は膨大な人口市場と経済成長を背景に急増している新興中間富裕層の胎動で2005年末にも1億に達する勢いだ。

携帯電話加入者数の急増で携帯電話端末は月間500万台の売れ行きに達しており拡大ペースで中国に衰えない。このようなインド市場規模拡大に伴い世界主要端末メーカーの動きも活発だ。LGはインド国内生産拠点を築き、ノキアはR&Dセンターを構築した。モトローラは同社の携帯電話ソフトウェアの30%をインドで開発し、サムスンも韓国・中国に次ぐ生産拠点設立の最終診査に入った。

本レポートは、インド携帯電話市場にビジネスチャンスを求めるニーズに応える目的で、インドの通信分野を専門として活躍する現地調査会社と共同企画によって調査分析したリアルレポートである。インド携帯電話市場の最新動向からテクノロジー、端末メーカー動向、端末流通仕組み、コンテンツなどのデータサービス動向、そして今後の市場展望にいたるまでを分析提供する。

調査対象先

<携帯電話キャリア>

Bharti、 Hutchison、 MTNL、 Idea、 Reliance、 BPL、 Aircel、 Spice、

BSNL、 Reliance、 Tata、 BSNL、 MTNL、 HFCL、 Shyam

<端末メーカー>

サムスン、 Sony-Ericsson、 Motorola、 Nokia、 Siemens、 LG、 Pantech&Curitel、
Kyocera、 Panasonic、 BenQ、 Sony-Ericsson、 Bird、 VK、 DBTel、 Alcatel、
Phillips、 PrimusCommunications、 BREW

<端末流通業者>

HCLInfinet、 SaloraInternational、 AgraniConvergence、
MunothIndustries、 IrisComputers、 FirstMobileIndia、

IngramMicro、 TechPacificIndia、 eSys

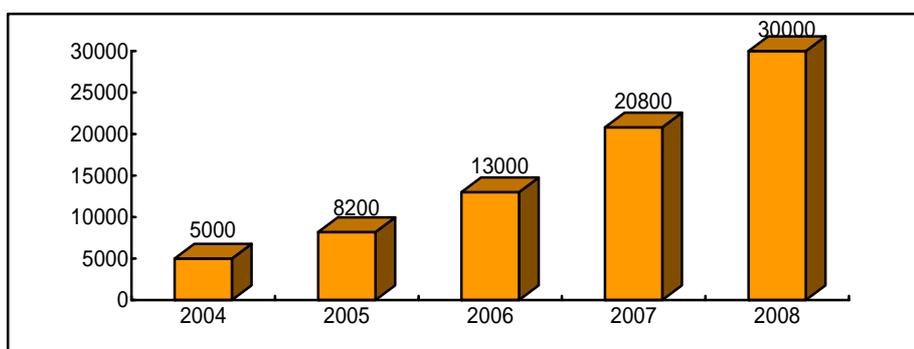
調査結果抄録

- インドは中国に次ぐ人口大国で 2035 年には中国を抜いて人口規模トップに立つと予想される。
- インドは低い人件費と豊富な研究開発人材、英語努力、米国と 12 時間時差などで、世界ソフトウェア開発市場 30%シェアを確保し、今後 5 年間年平均 20%以上の成長が期待される。
- 2004 年 7 月現在の携帯電話加入者数は 3800 万 (GSM3000 万、CDMA800 万)と人口普及率 4%に過ぎず 2005 年末には 1 億に達する勢いだ。
- 携帯電話加入者数の急増で携帯電話端末は月間 500 万台の売れ行きに達しており拡大ペースで中国に衰えない。
- インド政府はサービス圏域 (23Circle) ごとに複数の携帯電話事業ライセンスを発給した。そのため 2004 年現在携帯電話事業権を持つ事業者数は 25 社に至る。
- インドの携帯電話市場は 2002 年からの CDMA2000 1x の導入によって CDMA と GSM 方式間の競争体制が整え急速な加入者増加が期待される。
- インド携帯電話市場では国内端末メーカーが 1 社もなく、すべての端末を外国からの輸入に依存しており、日本メーカーの市場参入チャンスは高い。
- インド端末市場は新規加入者中心の 100 ドル前後の低価額端末が牽引しているが、徐々に付加サービス登場などでカメラ付き端末などの High-end 製品のニーズも高まりつつある。

2004 年末インド携帯電話市場は CDMA 方式 1,300 万、GSM 方式 3,500 万に達し、全インドの携帯電話加入者数は 5,000 万に達すると予想される。さらに 2005 年からも数年間に及び年率 60%以上の成長を続け 2008 年には加入者数 3 億に達したあと、2008 年以降は成長率が徐々に鈍化していくと展望される。

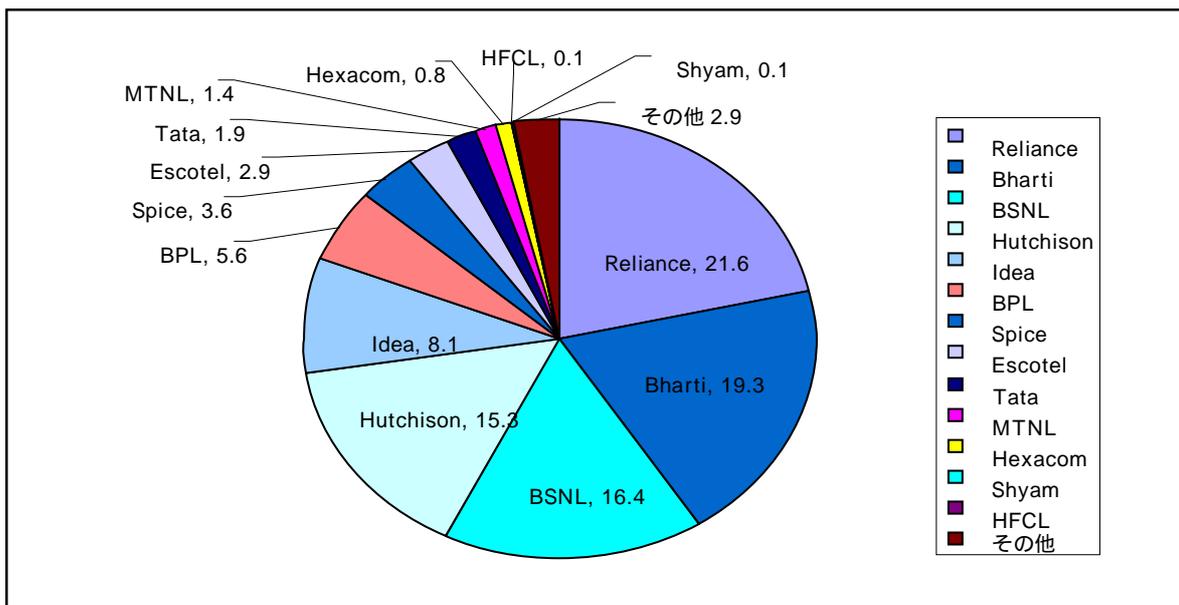
また、2004 年 3 月に 70%を占めている GSM 方式加入者は 2008 年には 55%程度まで下げ、一方 CDMA 加入者は同 30%から 2008 年には 45%程度まで増えると予想される。

図 2 - 4 インド携帯電話加入者数増加予想 (万)



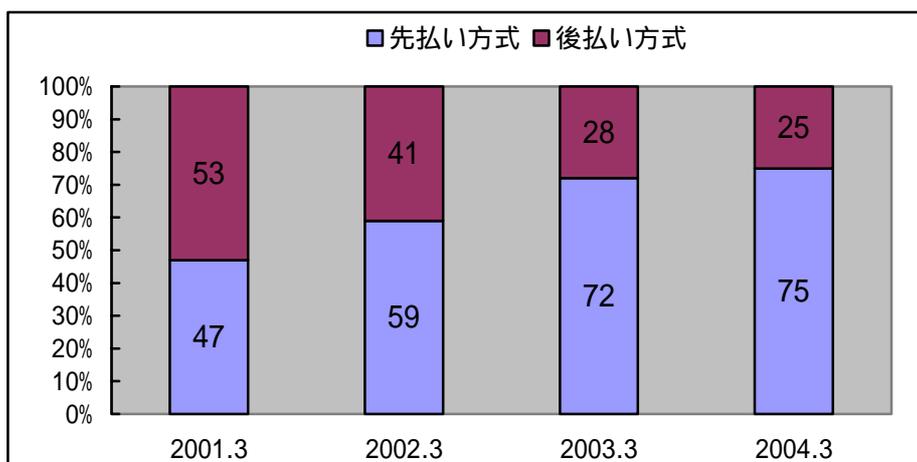
インド GSM 携帯電話市場は Bharti、BSNL、Hutchison などインド携帯電話事業者のなかで「ビッグ 4」を占める 3 社がそれぞれ 500 万以上の加入者を確保し、全 GSM シェアの 65%を占めている。その他に IDEACellular が 10%、そして CDMA 方式で絶大な強さを誇る Reliance が 3%のシェアを確保している。

図 インド携帯電話市場シェア(2003 年)



CDMA 方式では Reliance が 85%とシェアの過半数以上を占めており、その次に Tata Teleservices が 10%弱のシェアで巻き返しを図っている構図となっている。

図 4 - 2 インドの携帯電話料金支払方式比率 (%)



出典: MCA

図 5 - 4 インド携帯電話端末市場のメーカー別市場シェア (2004 年会計年度)

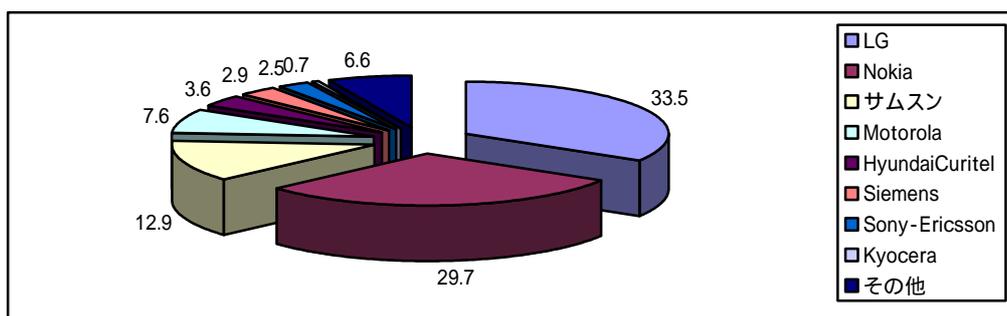


表 5 - 2 インド中・高価携帯電話端末価額比較 (2004 年 10 月) (価額基準:Rs)

Models	カメラ	MMS	スピーカ	E-mail	メモリ拡張	価額
LG						
G5400	x	x	x		x	13,990
G7030	x	x	x		x	14,990
G7100					x	24,990
Motorola						
C650						10,495
E398						15,995

調査資料の詳細

- ・発行日:2005年1月
- ・判型:PDF形式によるダウンロード販売
- ・ページ数:64頁
- ・発行・販売:株式会社MCA
〒106-6138 埼玉県さいたま市南区南浦和 2-3-2 日栄ビル
TEL:048-813-7395 FAX:048-813-7399
URL: <http://www.mca.co.jp> E-mail: info@mca.co.jp
- ・頒価:99,750円(税込み)
- ・調査期間:2004年8月~12月

資料の問い合わせ先

株式会社MCA(<http://www.mca.co.jp/>)
E-mail: support@mca.co.jp
Tel:048-813-7395 Fax:048-813-7399